

星溪園鳥類生息調査報告書

(冬 期)

昭和63年2月15日

(社) 埼玉建築士会 大里支部
星溪園建物調査委員会
(財) 埼玉県野鳥の会熊谷支部

はじめに

今回、星溪園建物調査を行なう機会に園内の環境を知るうえでのひとつの手がかりになると考え、(財)埼玉県野鳥の会熊谷支部にお願いし、鳥類生息調査を行なった次第です。

調査場所は熊谷の中心市街地ではありますが、0.3 haと狭いながらも樹木や池があり、歴史的なおもかげを残す、日本庭園です。この環境にどれだけの鳥がいるだろうか。調査をお願いしました。今回は、冬期の短期間でしたが、過去、熊谷市街地内での調査報告書はなく今回はじめての試みであり、以後の調査の集積によって、市街地内の環境度を知る手がかりになればと考えます。

なお、この調査を行ない、まとめていただいた埼玉県野鳥の会熊谷支部の大久保さん浜島さんに感謝する次第です。

昭和63年2月15日

星溪園建物調査委員会
委員長 大島 健次

調査概要

- | | |
|---------|---|
| 1. 地区名 | 都市公園（歴史公園） |
| 2. 調査場所 | 星溪園（日本庭園）
（熊谷市鎌倉街32番地） |
| 3. 規模 | 総面積 3,241m ²
池の面積 1,020m ² |
| 4. 調査日 | 昭和62年11月16日
11月28日
12月12日
昭和63年1月2日
1月16日 |
| 5. 調査方法 | 目視による調査 |
| 6. 調査員 | (財)埼玉県野鳥の会熊谷支部
大久保茂徳
浜島 義雄 |

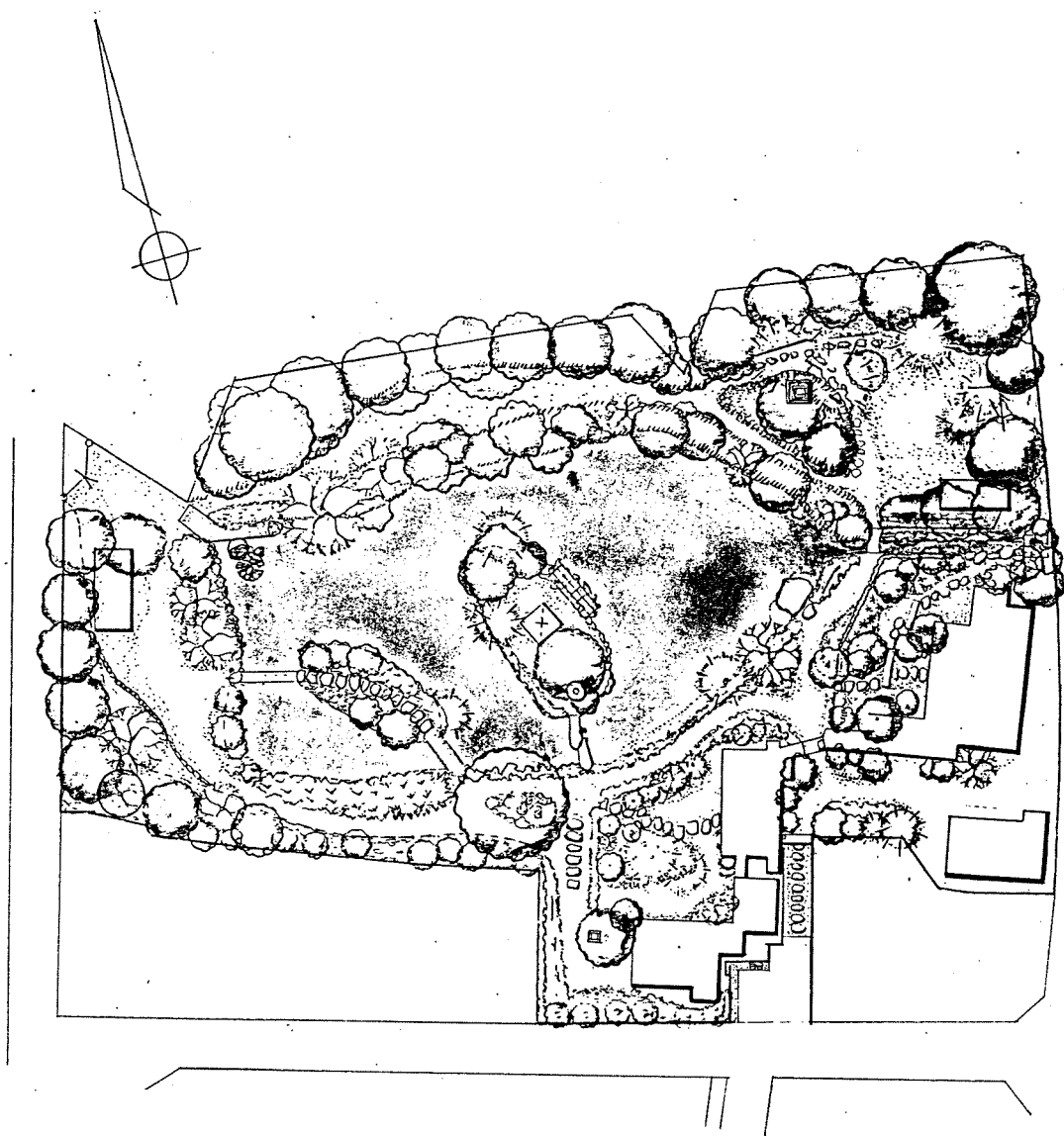


星溪園



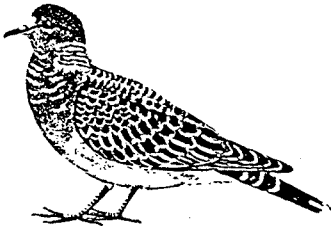
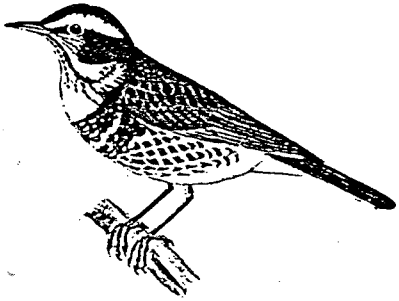
市街地地図

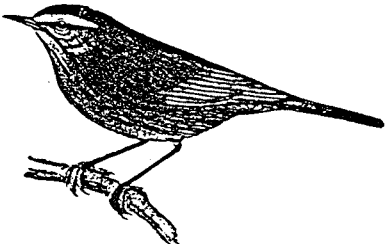
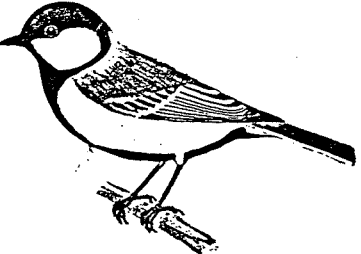
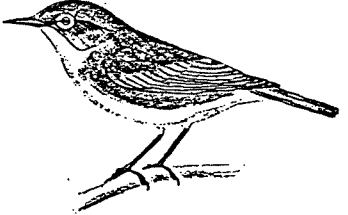
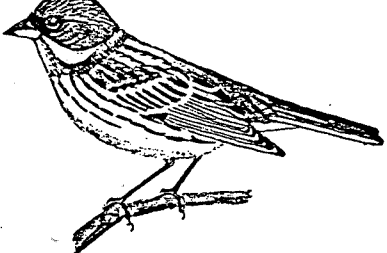
$s = 1 / 10000$

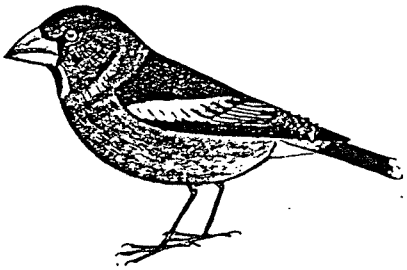
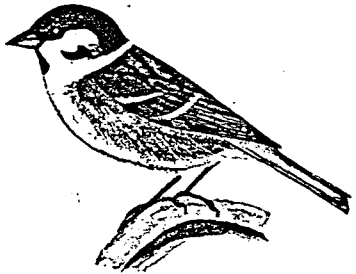
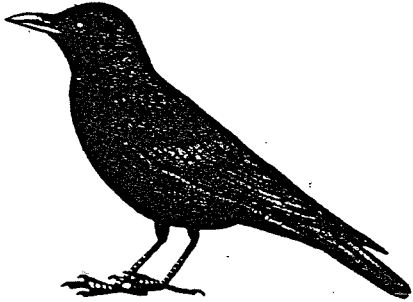


星溪園全体配置図

$s = 1 / 600$

観察した野鳥 標準和名 学名	図	観 察 状 況 等	記 録 日
キジバト Streptopelia orientalis		現在本市の市街地で普通に見られる野生のハトで園内では1～2羽が4回程観察された。	S 62 11/28 12/12 S 63 1/2 1/16
カワセミ Alcedo atthis		水辺にすむ美しい野鳥で市街地では比較的希である。園内では1回観察されており、池の小魚を捕っていた。	S 63 1/2
ヒヨドリ Hypsipetes amaurotis		近年市街地でも普通に見られるようになる野鳥で本市でも10数年前から繁殖するようになった。今回もすべての調査で観察されその数は10～30羽にも及んだ。	S 62 11/16 11/28 12/12 S 63 1/2 1/6
ツグミ Turdus naumanni		冬鳥として大陸より渡って来る野鳥で郊外で普通に観察される。園内で上空を通過する姿が2回観察された。	S 62 12/12 S 63 1/2

観察した野鳥 標準和名 学名		観 察 状 況 等	記 録 日
ウグイス Cettia diphone		冬になると市街地の植込にも現われる野鳥である。園内ではツツジや矢竹の植込の間で3回観察された。	s 62 11/16 12/12 s 63 1/2
シジュウカラ Parus major		近郊の雑木林では普通であるが、ごく近年になって市街地でも繁殖するようになった。行動範囲が広いためか、園内の記録は1回にとどまった。	s 62 12/12
メジロ Zosterops japonica		雑木林にすむ野鳥で、冬には市街地の庭や公園にもやって来る。園内では2～3羽の小群が3回観察された。	s 62 11/16 12/12 s 63 1/2
アオジ Emberiza spodocephala		冬鳥として主に雑木林にやって来る野鳥で市街地ではよく木の繁った庭や公園に姿を現わす。園内では、地上におりている姿を2回観察した。	s 63 1/2 1/16

観察した野鳥 標準和名 学名	図	観 察 状 況 等	記 録 日
シ メ Coccothraustes coccothraustes		その太い嘴を利用して植物の種子などを好んで食べる。本市では秋になると、北海道方面から渡って来る冬鳥、園内では3回観察された。	S 62 11/28 12/12 S 63 1/16
ス ズ メ Passer montanus		全国的に留鳥として人家付近にきわめて普通にすむ野鳥であるが、園内では1回、1羽が観察されたのみであった。	S 63 1/2
ムクドリ Sturnus cineraceus		本市付近では秋・冬にその大群を目にするのは希ではなく、市街地でも普通にみられるが、園内では1羽づつ2回観察されただけであった。	S 62 12/2 S 63 1/16
ハシボソ カラス Corvus corone		郊外の林で繁殖する野鳥でえさを求めて、市街地にも姿を現わす。園内では梢にとまる1羽を1回観察した。	S 63 1/2

ま と め

本調査では、生息が確認された野鳥は3目11科12種であった。

調査期間が、昭和62年11月中旬から昭和63年1月中旬までと短期間であったが、本市街地に冬期生息する可能性のある主な野鳥は監察された。

調査地の特徴としてはヒヨドリの生息数の多さが上げられる。その数は毎回の監察で10～30羽に及んだ。